

**那覇市中心市街地商業等振興計画（仮称）策定調査業務に関する
公募型プロポーザル企画提案書等作成要領**

1 一般的な留意事項

- (1)提案者は別紙「令和7年度那覇市中心市街地商業等振興計画（仮称）策定調査業務仕様書」（以下「仕様書」という。）に基づき提案すること。
- (2)企画提案書の内容は、提案者が自ら実現できる範囲内で記載すること。
- (3)企画提案書に記載された内容について、その実現に必要な追加費用及び別途費用は、原則全て受注者の負担となるため、仕様書の内容を十分に理解した上で提案すること。
- (4)今回の企画提案は、あくまでも受託候補者を特定するための審査材料となるものであり、実際の業務の仕様及び進め方については、事務局と協議し、決定することとなるので留意すること。

2 企画提案書の規格等

- (1) 表紙及び目次などを除いて 20 頁以内
- (2) A4 版・カラー・片面印刷
- (3) 横置・横書・上綴じ
- (4) 文字原則 11 ポイント（図表等など必要な場合はその他のポイントも可）
- (5) 表紙を作成し、中央に本プロポーザル名を記載し、その下に「企画提案書等」と記載すること。

3 企画提案書の記載事項及び作成の留意点

記載順	記載内容及び留意事項
(1)業務実施方針・計画提案概要	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を実施する際の基本的な考え方 ・特に重視する業務実施上の配慮事項等 ・（様式 6）業務実績調書に関する補足説明
(2)業務実施体制及びスケジュール等	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施体制：従事するスタッフの体制、役割、実務経験、人員及び組織体制等。協力連携事業者がある場合は、その役割等（連携協力事業者がある場合は含めて記載） ・スケジュール等：業務スケジュールを及び業務フロー等
(3) ①基礎的 条件整理 調査	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の現状・課題等 ・基礎的条件として設定する仮定とその根拠 ・その他独自の提案事項

業務の評価	②アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的かつ有効的な具体的調査の手法 ・必要と思われる調査対象、調査項目、調査方法の提案、その理由 ・調査結果等の具体的分析手法 ・中心商店街の今後の展開の方針（地元客・観光客のバランス、飲食店出店のあり方、通り毎の振興策等）を検討するために必要な設問を含むこと。
	③ヒアリング調査	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的かつ有効的な具体的調査の手法及び回数等を含む意見聴取の方法 ・必要と思われる調査対象、調査項目、調査方法の提案、その理由 ・調査結果等の具体的分析手法 ・中心商店街の今後の展開の方針（地元客・観光客のバランス、飲食店出店のあり方、通り毎の振興策等）を検討するために必要な設問を含むこと。
(4)報告書の作成		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に向けての方向性（中心市街地の現状及び将来の見通しの考え方を示すこと） ・中心商店街における DX 化、都市型 MICE 等への対応の必要性や、エリア毎のゾーニングの視点を含むこと。